



F - Release

エフ・リリース
NPO 法人 ふじ環境倶楽部 情報誌
VOL.55 2007. 11.15 発行

NPO法人 ふじ環境倶楽部は、市民・企業・行政のパートナーシップを基本としながら、

富士地域の自然及び社会的資源の掘り起こし、磨き上げ
地域資源を活用したまちづくり計画の策定、まちづくり活動の実践
市民団体相互のネットワークの構築 等を通じて、市民がこの地域で誇り
を持って働き、暮らしていける「資源循環・環境共生型のまちづくり」を
目指して、楽しく、ゆっくり、着実に歩んでいます。(平成12年11月9
日 法人設立) 〒417-0815 富士市増川19-1

TEL.0545-38-0088 FAX.0545-39-0057

E-mail: info@ad-ism.com URL: http://www.fujikankyo-club.org

平成19年9月18日(火)富士市環境審議会(担当:環境政策課)
ふじエコネットの代表としてこの日にやっと発言して議事録に載
りました。中山先生や小池議員がいるので心強く感じました。富士
市の19年度の環境報告書等について話し合っています。

今期は、富士市の環境政策の最高審議機関に、委員枠は異なりま
すが、NPO ふじ環境倶楽部から3名も参画しています。

参加者: 渡井(市民代表) 小池(市議会議員枠) 中山(学識経験者枠)



平成19年10月28日(日) : フィランセ5Fホール
「セカンドライフ進路相談会」主催:CTTF
NPO 団体相談ブース出展協力:参加者小池、渡井、太田



この相談会は、企業を退職するシニア層の皆さんと、市民団体や
就業支援団体(ハローワーク、シルバー人材センター等)が顔を合
わせ、今後市民活動等に取り組んでいただくきっかけづくりや、相
談などを行う「マッチング」を意図した会です。

ふじ環境倶楽部では昨年に引き続いてのブース参加でした。市民
団体、就業支援団体は、計18組織がブースを出し、それぞれの活
動をわかりやすく、楽しく紹介しました。しかし、肝心のシニア層
の皆さんの来場が少なく、NPO 法人コミュニティ・シンクタンク
ふじ(CTTF)の奮起を期待したいと思います。

平成19年10月30日(火):ロゼシアター 小ホール
下水道フォーラム テーマ:「水は天下のまわりもの ~下水道
の3Rで目指す循環型社会~」 主催:下水道協会静岡県支部
パネラー参画:太田事務局長 聴講者:浅井、小池、渡井

基調講演は、富士常葉大学の山田辰美先生でした。さまざまな生
物の在来種と外来種が混在し、徐々に在来種が駆逐されつつある状
況を、生息環境と併せ、わかりやすく解説していただきました。後
半はラジオ番組同様、「おやしギャグ」が多くなり、会場の笑い(失
笑?)を誘い、楽しいながらも、最後は下水道の必要性を来場者に
問い掛ける講演でした。

太田事務局長は、「富士市の大きな水循環」を切り口に、倶楽部が
取り組んできた田宿川の保全活動、富士山麓の森づくりなどを通じ
て、健全な水循環システムの構築と、それを市街地で支える下水道
の必要性を上手に話しました。



会場入口のふじ環境倶楽部のブースで『環境創造ふじ』予約販売



平成19年11月8日(木):富士市役所消防防災庁舎7階会議室
富士山観光交流ビューロー設立準備委員会
出席者:小池(ワーキング部会員)



この会議は、来年4月に設立・スタートする「富士山観光交流ビ
ューロー」の具体的な事業や組織を確立するための検討機関です。
「富士山」の名前が表すように、最終的には、環富士山、つまり静
岡県、山梨県の市町村や関連団体等が参加し、連携しながら、この
地域に多くのお客さんに来てもらうような誘客や観光ルートづくり、
スポーツ大会などの誘致を行っていくことを狙いとしています。

当面は、富士地域2市2町の行政、関係団体、市民等が参加しな
がらの運営ですが、小池が倶楽部を代表して、具体的な検討作業を
行うワーキンググループに入りました。今後の検討経過については、
随時報告させていただきます。